

浸水対策施設の概要

1. 浸水対策施設の概要

今回整備したい浸水対策施設は、事業対象地を含む周辺約150ヘクタールのエリアの内水浸水被害を軽減する目的*で整備するものです。具体的な施設としては、雨水ポンプ場と貯留施設などで構成され、このうち、雨水ポンプ場は敷地面積として4,000平方メートル程度、高さ10メートル程度が必要と想定しています（図-1、図-2）。

※本施設は境川の洪水対策を兼ねるものではなく、境川洪水浸水想定区域図で想定された浸水（3～5メートル、想定し得る最大規模）が解消される施設ではありません。また、具体的な施設規模が決まるのは河川管理者との放流協議後になる見込みです。

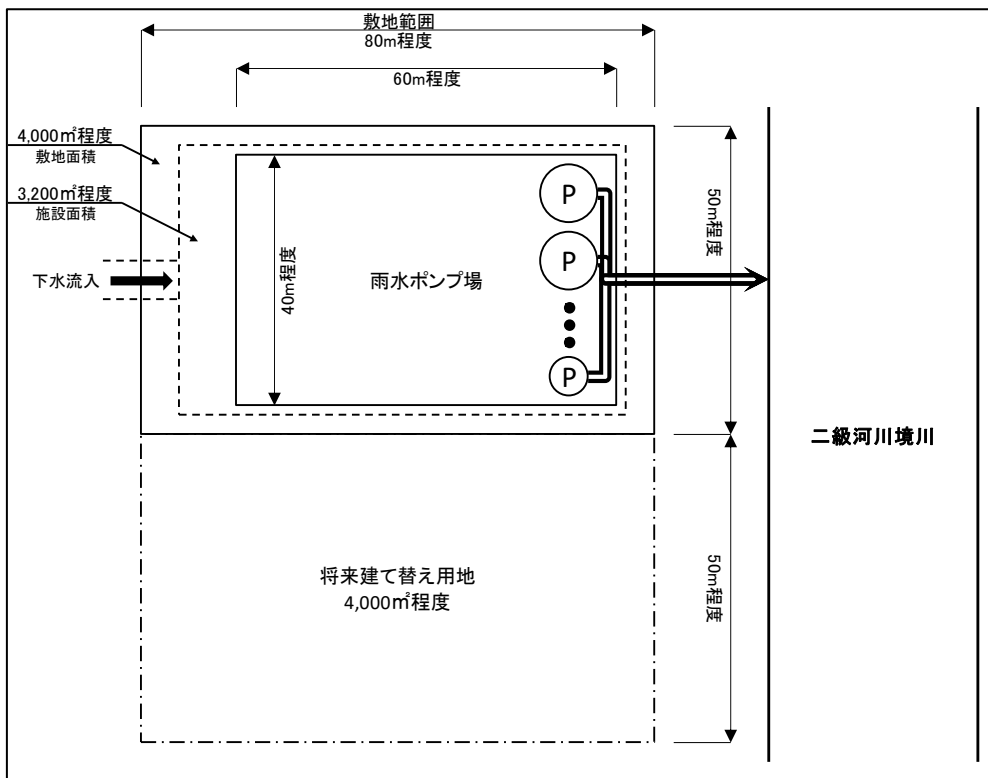


図-1 雨水ポンプ場模式図（平面）

※将来の建て替えは、必ずしも隣地で行うものではありません。

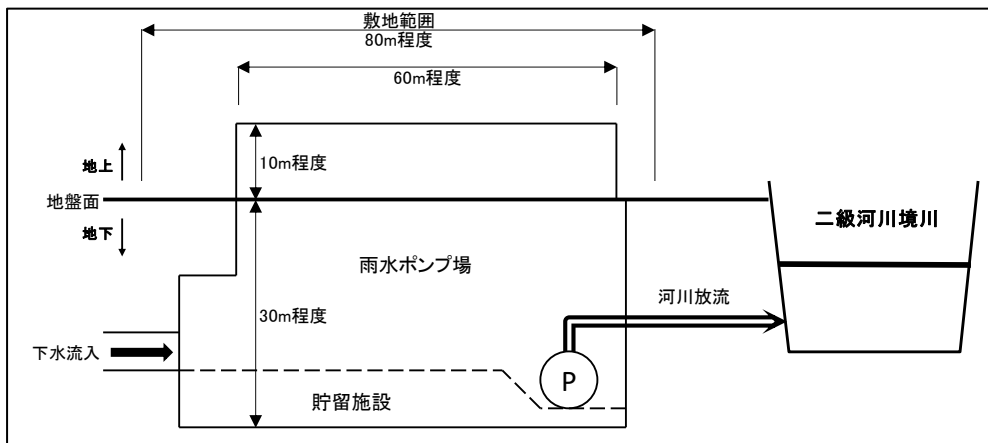


図-2 雨水ポンプ場模式図（断面）

2. 他都市の事例

○山下ポンプ場（横浜市山下公園）

【概要】

- ・横浜市の下山公園内でポンプ場を整備したもの
- ・山下公園内東側の高台「せかいの広場」の下部に公園の駐車場（223台）、その下に雨水ポンプ場を整備した複合施設
- ・関内、山下地区の浸水対策を目的として整備された雨水ポンプ場（放流量 11.694m³/sec）



図-3 山下ポンプ場位置図

出典：Google Map



写真-1 山下ポンプ場航空写真

出典：Google Map



写真-2 山下ポンプ場地上部外観

(地上部：駐車場と公園)

出典：Google Earth